

港区立しばうら保育園及び
港区立しばうら保育園分園
指定管理者候補者選考委員会
報 告 書

令和6年7月5日

港区立しばうら保育園及び
港区立しばうら保育園分園
指定管理者候補者選考委員会

目 次

はじめに

I	選考した指定管理者候補者について	1
II	選考経過について	2
III	選考対象者について	4
IV	選考結果について	5
V	最終選考結果について	8

はじめに

本報告書は、港区立しばうら保育園及び港区立しばうら保育園分園の指定管理者候補者を選考するにあたり、「港区立しばうら保育園及び港区立しばうら保育園分園指定管理者候補者選考委員会」における審査の経過及び結果について報告するものです。

港区が定めた「港区指定管理者制度運用指針」では、民間事業者等が持つノウハウやアイデア、専門性などを活用することにより、多様化する区民ニーズへの柔軟かつ迅速な対応や効率的で効果的な区民サービスの提供が可能となる施設については、積極的に指定管理者制度の導入を進めるとしています。

「港区立しばうら保育園及び港区立しばうら保育園分園指定管理者候補者選考委員会」は、このような視点を踏まえた上で、しばうら保育園及びしばうら保育園分園の設置目的を最大限に活かし、効率的・効果的に区民サービスを提供することができる候補者の選考を行いました。

審査にあたっては、常に厳正さと公正さを確保するとともに、委員会として委員の総意の下に結論を導き出すよう努めました。

港区立しばうら保育園及び港区立しばうら保育園分園指定管理者候補者から提案された内容は、施設の設置目的を十分に理解した上で、現状の課題を的確に捉え、かつ、将来を見据えた大変優れたものでした。3事業者からの応募があり、複数の事業者からの提案を比較・検討ができて、選考作業は大変充実したものとなりました。

応募いただいた事業者の皆様には深く感謝するとともに、選ばれた事業者には、港区立保育園条例に定める目的の達成に向け、指定管理者として十二分に力を発揮されることを強く期待いたします。

令和6年7月5日

港区立しばうら保育園及び港区立しばうら保育園分園指定管理者候補者選考委員会
委員長 安梅 勅江

I 選考した指定管理者候補者について

1 指定管理者候補者

名 称	小学館アカデミー・太平ビルサービス共同事業グループ
代表団体	名 称：株式会社小学館アカデミー 代表者：代表取締役 喜田 力 所在地：東京都千代田区神田神保町二丁目20番地
構成団体	名 称：太平ビルサービス株式会社 代表者：代表取締役会長 狩野 伸彌 所在地：東京都新宿区西新宿六丁目22番1号

2 対象施設

施設の名称	所在地
港区立しばうら保育園	東京都港区芝浦三丁目1番16号
港区立しばうら保育園分園	東京都港区芝浦一丁目16番1号

3 指定期間 令和7年4月1日から令和17年3月31日まで（10年）

4 選考の理由

- (1) 多様化する保育ニーズを把握し、本のライブラリーの設置など事業者独自のノウハウを活かした計画提案や、英語を取り入れた遊びなど教育面の強化を図ることにより、利用者の満足度向上が期待できます。
- (2) 少人数でのグループ保育の実施、保護者や医師と連携したアレルギー除去食の提供、合同行事による本園・分園の垣根のない交流といった、園児と保護者の目線に立った上での、きめ細かな配慮を怠らない姿勢は、法人のこれまでの運営実績を踏まえた具体的で実現性の高い提案として評価できます。
- (3) 大規模園としての職員配置や法人の賃金体系について、安定的かつ質の高い保育園運営が見込める提案内容となっており、施設長候補者についても、保育施設の施設長経験が豊富で施設が果たすべき責務や現状・課題を十分に理解しています。また、職員の確保や人材育成等の点で本部のバックアップ体制が充実しているなど、10年の指定管理期間を安心して任せられる事業者として期待できます。
- (4) 類似施設の運営実績は申し分なく、建物・施設の状況を十分に理解した上で、専門的知見を活かした建物設備の維持保全が見込めるため、指定管理者として安定感があると考えられます。

Ⅱ 選考経過について

1 選考の方法

(1) 第一次審査

応募法人から提出された申請書類及び計画書類について、財務関係書類、基本的事項の適格審査、計画書類に対する評価をもとに総合的な審査を行い、第一次審査通過者として2事業者を選考しました。

(2) 第二次審査

第一次審査通過者に対して、プレゼンテーション及びヒアリングを行い、第一次審査と第二次審査とを併せた総合評価により指定管理者候補者を選考しました。

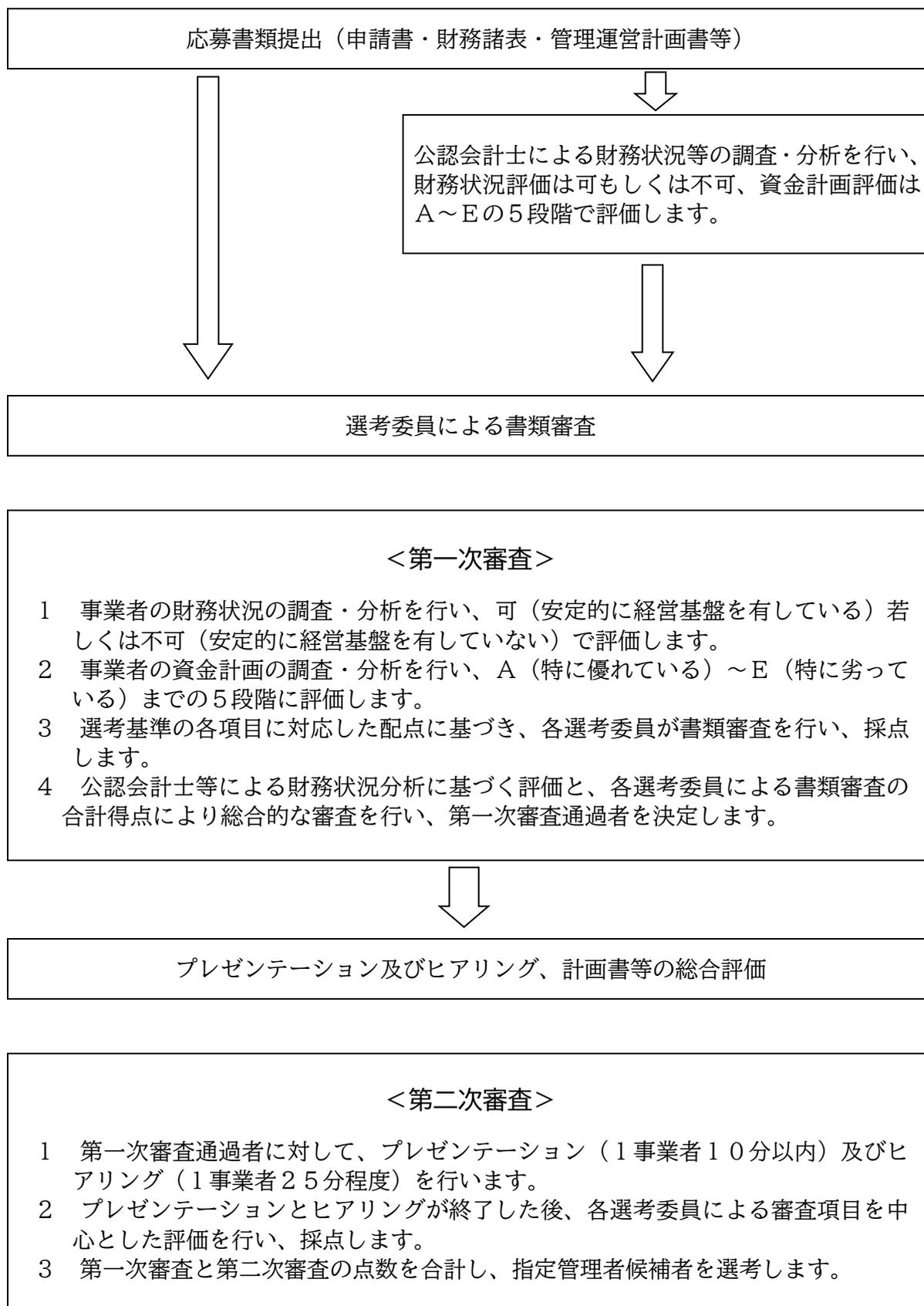
2 選考委員会の構成

委員長	安梅 勅江	筑波大学 医学医療系 教授
副委員長	上村 隆	港区芝浦港南地区総合支所長
委員	岡田 耕一	聖徳大学 短期大学部保育科 教授
//	田中 正浩	実践女子大学 生活科学部生活文化学科 教授
//	請川 滋大	日本女子大学 家政学部児童学科 教授
//	桑原 砂美 (令和6年3月31日まで)	港区子ども家庭支援部 保育課長
	清水 雅美 (令和6年4月1日から)	
//	石原 輝章	港区子ども家庭支援部 子ども家庭支援センター所長

3 公認会計士

坂本 亮	坂本亮公認会計士事務所
------	-------------

4 選考の進め方



5 選考委員会等の開催状況及び経過

(1) 第1回選考委員会

日 時 令和6年2月1日(木曜日) 午前10時～午前11時30分
場 所 オンライン会議
議 題 委員の委嘱について
公募要項について
選考基準について

(2) 公募手続

ア 申請受付 令和6年2月19日(月曜日)～5月24日(金曜日)
イ 質問書受付 2月19日(月曜日)～3月1日(金曜日)
ウ 公募要項説明会及び現地見学会 2月27日(火曜日)
エ 質問への回答 3月15日(金曜日)

(3) 第2回選考委員会(第一次審査)

日 時 令和6年6月17日(月曜日) 午後5時～午後6時15分
場 所 オンライン会議
議 題 応募事業者の財務状況等について
第一次審査(書類審査)
第二次審査の方法について

(4) 第3回選考委員会(第二次審査)

日 時 令和6年7月5日(金曜日) 午後5時～午後7時15分
場 所 港区芝浦港南地区総合支所 101会議室
議 題 第二次審査(プレゼンテーション及びヒアリング)
候補者の決定について

Ⅲ 選考対象者について

No	事業者の名称	所在地
1	事業者A(小学館アカデミー・太平ビルサービス共同事業グループ)	東京都千代田区神田神保町二丁目20番地 株式会社小学館アカデミー内
2	事業者B	—
3	事業者C	—

IV 選考結果について

1 第一次審査

(1) 財務状況分析等について

公認会計士による財務状況調査分析等報告書に基づき説明がありました。

ア 財務状況評価

各法人より提出された財務諸表（決算報告）を基に、財務規模、収益性、安全性について、数値及び比率分析等により、安定的に継続して指定管理業務を行うことができるか否かを、可若しくは不可の絶対評価を行いました。

イ 資金計画評価

各法人より提出された資金計画書を基に、資金・収支計画の正確性、安全性、収支見込の妥当性、運転資金調達の確実性、事業計画との整合性、経費見積りの妥当性などについて数値及び比率分析により、A～Eの5段階総合評価を行いました。

(2) 選考基準表に基づく採点

選考委員ごとの評価した点数を合計し、全委員の採点した点数の合計による選考を実施しました。

順位	事業者の名称	財務状況 評価	資金 計画 評価	合計点数 (1,400点満点)
1	事業者A（小学館アカデミー (A-1)・太平ビルサービス (A-2) 共同事業グループ)	(A-1) 可 (A-2) 可	A	1,027 点
2	事業者C	可	A	1,017 点
3	事業者B	可	A	826 点

※ 財務状況評価基準

可（安定的に経営基盤を有している）、不可（安定的に経営基盤を有していない）

※ 資金計画評価基準

A:特に優れている、B:優れている、C:標準的、D:劣っている、E:特に劣っている

(3) 選考経過

各委員が候補者の提案内容の評価について意見交換を行いました。

事業者の名称	委員の意見
事業者A (小学館アカデミー・太平ビルサービス共同事業グループ)	<ul style="list-style-type: none"> ・類似施設の運営実績は申し分なく、運営体制についても正規職員が多く非正規職員が少ない人員配置や、賃金体系の面で他の事業者よりも期待できる内容です。 ・親子が自由に閲覧できるライブラリーを設置するという提案は、事業者独自の強みが活かされており、子どもたちが様々な本に触れられる機会を与えるという点で評価できます。 ・少人数でのグループ保育の実施、分園から本園への接続、併設する子育てひろばあっぴいと連携について、具体性のある提案となっているのが評価できます。 ・建物・施設の状況を十分に理解しており、専門的知見に基づいた現実性が高い提案がされていました。 ・職員の研修についても様々なレベルで研修が行われて、しっかりと人材育成ができていると感じました。
事業者C	<ul style="list-style-type: none"> ・提案書の記載がわかりやすくまとめられていて、特に地域特性を踏まえた取組が十分期待できるような内容です。 ・全体的に大規模園を意識した提案内容となっており、現在の園の運営状況や課題をしっかりと分析していると提案書から感じ取れます。 ・プライバシーマークの認証取得や、給食提供時のトリプルチェックなど、安全・安心に関する対応が丁寧であると感じました。 ・職員配置の部分で副園長は配置していますが、主任保育士を置いておらず、実際に大規模園を運営する際に人員体制面で不安を感じます。 ・障害者の法定雇用率が足りておらず、多様な人材の確保の面で取組が不十分であると感じます。
事業者B	<ul style="list-style-type: none"> ・親子で集えるカフェを設置するという提案は良いと思います。 ・提案書は抽象的な表現が多く、記述の分量についてもA4判1枚という指定がある中で、最終行まで埋められていない項目も多々見受けられ、内容が乏しいと言えます。 ・類似施設の運営実績の部分で、小規模保育園の実績が多くを占めていたことから、しばうら保育園という大規模な保育園の運営は難しいと感じます。 ・芝浦地区についての検討・分析が足りておらず、なおかつ提案内容が一般論に留まっており、具体性が不足しています。

	・職員配置のところで園長経験がある方が分園長・副園長に配置されておらず、園長候補者となる方の経験が十分ではないように感じます。
--	---

以上の点を総合的に勘案して、「事業者A（小学館アカデミー・太平ビルサービス共同事業グループ）」と「事業者C」を第一次審査通過者としました。

2 第二次審査

(1) プレゼンテーション及びヒアリング

第一次審査通過事業者が10分以内のプレゼンテーションを行った後、管理運営計画書及びプレゼンテーションの内容に基づき25分程度のヒアリングを行い、選考基準により審査しました。

(2) 採点結果

選考委員ごとの評価した点数を合計し、委員の採点した点数の合計と第一次審査の合計点を合算した総合点数を算出しました。

順位	事業者の名称	総合点数 (2,000点満点)	第一次審査点数 (1,400点満点)	第二次審査点数 (600点満点)
1	事業者A（小学館アカデミー・太平ビルサービス共同事業グループ）	1,457点	1,027点	430点
2	事業者C	1,447点	1,017点	430点

(3) 選考経過

各委員が第一次審査通過事業者の管理運営計画書及びプレゼンテーションの内容の評価について意見交換を行いました。

事業者の名称	委員の意見
事業者A（小学館アカデミー・太平ビルサービス共同事業グループ）	・全体的に本部のバックアップ体制がしっかりしていて、安定した保育園運営が展開でき、提案事業の実現性も高いと思いました。 ・施設長候補者は子どもや保護者に対して普段から丁寧に寄り添った対応をされているのが分かるような人柄で、豊富なキャリアを活かして大規模園でもリーダーシップを発揮できそうな方とい

	<p>う印象を受けました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園長と職員のコミュニケーションや職員同士の連携について、職員一人ひとりを大事に考えており、保護者や園児たちに対しても真摯にかつ丁寧に向き合っていると思いました。 ・研修のプログラムがしっかり整備されていて、質問に対しても安定感のある受け答えができていました。
事業者C	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な記述でかつ非常によく港区のことを勉強していることがわかるようなプレゼン資料になっていて、さらにその内容を施設長候補者も十分理解していて、自分の言葉で考えて述べていたところが良かったと思いました。 ・施設長候補者の受け答えからは、荒削りではありながらも保育に誠実に向き合っていく印象を強く受け、提案書以上の新しい視点を持った保育園運営が期待できると思いました。 ・提案事業自体は魅力的ですが、その実現性を考えたときに不安を感じました。 ・施設長候補者の経験が浅く、プレゼンテーションでも時間が足りていなかったり、ヒアリング中に回答に詰まるところがあったりして、長けたリーダーシップが必要な大規模園の運営を考えたときに少し安定感に欠けると感じました。

V 最終選考結果について

最終選考結果

指定管理者候補者の審査点数（2,000点満点）の得点率は72.9%であり、提案書の内容、事業者の体制ともに評価できるものでした。選考基準に基づき、選考委員会の総意として、「小学館アカデミー・太平ビルサービス共同事業グループ」を港区立しばうら保育園及び港区立しばうら保育園分園指定管理者候補者として選考します。